

カリキュラム「修得」と「実践」で構成するカリキュラム体系

		1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
基礎	基礎学修科目	学びの意義や方法を理解する ● 大学での学びと学問分野の基礎 ● 情報リテラシーⅠ ● 情報リテラシーⅡ ● 主体的に学ぶための技法Ⅰ ● 主体的に学ぶための技法Ⅱ ● キャリア開発基礎			
	基本ツール科目	■ 入門科目 基礎的なICT活用技術やプログラミングのスキルを養う ● ICT入門 ● データサイエンス概論A ● プログラミング入門 ■ 基盤科目 より複雑な課題に対応できるスキルを養う ● ウェブプログラミングとアプリ開発 ● IoT利用による問題解決 ● データ分析と統計モデリング ● データサイエンス実践論 ● データサイエンス概論B ● データ可視化 ● AIビジネス活用論			
	思考系	■ 入門科目 課題解決に必要な基本的な思考のスキルを養う ● ロジカルシンキング ● デザイン思考・システム思考 ■ 基盤科目 プロジェクトを進める手法や議論を促進し合意形成を図る方法など、他者と協働して課題解決に取り組む上で必要となるスキルのほか、論理的に文章を構成し表現するスキルを養う ● ファシリテーション ● プロジェクトマネジメント ● 日本語アカデミックライティング			
	リベラルアーツ科目	■ 入門科目 人の多様性、社会の仕組み、自然との共存などに関する基礎的理解を養成 ■ 基盤科目 平和な社会の構築や、多様な主体との協働など、課題解決を行う上での思考・判断の基礎となる知識を修得 ■ 発展科目 縦軸として（人）（社会）（自然）を設定し、それらを横断する軸としてウィンドウを設定。学生はいずれかのウィンドウを選択して履修するが、興味関心やプロジェクトの進行状況に応じて、他のウィンドウに関わる科目も履修できる			
	修得	● ソーシャルシステムデザイン入門 ● 学生課題意識を醸成し、学修意欲を喚起			
	実践英語	■ 入門科目 IEP(英語集中プログラム) 授業を英語で受けられるレベルの英語力を養う ● リスニング英語・スピーキング英語Ⅰ ● プレゼンテーションⅠ ● アカデミック英語Ⅰ ● リスニング英語・スピーキング英語Ⅱ ● プレゼンテーションⅡ ● アカデミック英語Ⅱ ● リーディング・ライティング英語Ⅰ ● 統合英語Ⅰ ● アカデミック英語Ⅲ ● リーディング・ライティング英語Ⅱ ● 統合英語Ⅱ			
	日本語（主に留学生・初学者向け）	● 日本語Ⅰ ● 日本語Ⅱ ● 日本語Ⅲ ● 日本語Ⅳ ● 日本語Ⅴ ● 日本語Ⅵ			
実践	課題解決演習科目(PBL)	● 課題解決演習ⅠA ● 課題解決演習ⅠB ● 課題解決演習Ⅱ			
	体験・実践プログラム	■ 国内プログラム ■ 海外プログラム 学生各自の興味・関心に応じて、卒業までに最低2回、うち1回は海外プログラムに取り組む ● 国内ボランティア ● 国内インターンシップA ● 国内インターンシップB ● 海外ボランティア ● 海外インターンシップ ● 海外短期プログラム			
卒業プロジェクト科目		卒業プロジェクト準備 ● 主体的に学ぶための技法Ⅰ ● 主体的に学ぶための技法Ⅱ 卒業プロジェクトⅠ 卒業プロジェクトⅡ			

※基礎学修科目「主体的に学ぶための技法Ⅰ」「主体的に学ぶための技法Ⅱ」の修得が「卒業プロジェクト準備」の修得とみなされます。

充実した教育プログラムと学修サポート

ジャンプスタートワークショップ(JSW)

入学直後に全員が参加するジャンプスタートワークショップでは、大学のカリキュラムや履修登録方法、学生生活で受けられるサポートや留意点を理解し、4年間の大まかな学修の流れを把握します。このワークショップで集中講義として実施する「ソーシャルシステムデザイン入門」や「基礎学修科目」で、入学後同士のチームワークや、社会課題に対する当事者意識を醸成します。

ポート(港)による学生支援

学生40人(1学年10人×4学年)程度を専門分野の異なる教員2～3人が担任する「ポート」を設け、学生を支援しています。教員2人の研究室と学生が滞在する部屋を隣接配置することで、学生が日常的に教員とコミュニケーションをとることができます。学修計画の立て方や履修科目の選択、学修方法についての指導・助言を受けやすい環境です。



クォーター制

1年を4学期に分離するクォーター制を導入。自らの履修計画に応じて海外留学やインターンシップ、ボランティアに取り組みやすくなっています。

カリキュラムについて、詳しくはこちらから >>>

